

かながわの 交通

2017 5月号

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
こども部門: こども・中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

ペダルこぐ 免許はないけど ドライバー



MM21地区とポピー

(横浜市中区)



二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール(SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング(GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。

問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで

二輪車事故
多発!!

◎県内の交通事故発生概況(平成29年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成29年		8,667	43	10,249	県人口	9,144,183	4,562,352	4,581,831
平成28年		8,889	36	10,530	免許人口	5,624,268	3,233,120	2,391,148
増減数		-222	+7	-281	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-2.5	+19.4	-2.7				

(県人口は平成29年4月1日、免許人口は平成29年3月末現在)

二輪車交通事故防止及び暴走族追放運動

◎ 期 間

平成29年6月1日(木)～6月30日(金)の1か月間

◎ 趣 旨

この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通意識の向上を図るとともに、暴走族についても、その追放気運の高揚を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。



◎ スローガン

- ◇ 運転に ゆとりやさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しないさせない ゆるさない

◎ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

◎ 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族加入防止教室などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。

自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、5月5日のチリリンデーなどの機会に駅頭や主要交差点などでキャンペーンを展開し、自転車利用者の交通ルール遵守、マナーアップを呼びかけています。



～平成29年度「自転車交通事故多発地域」～

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、平成28年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(21.7%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計16市区町を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進をお願いすることとしました。

	指 定 地 域
市	平塚市、茅ヶ崎市、大和市、藤沢市、南足柄市
区	横浜市鶴見区・港北区・瀬谷区、中区 川崎市川崎区・幸区・中原区・多摩区 相模原市南区・中央区
町	寒川町

※下線は昨年も指定

「春の全国交通安全運動」実施結果

◇ 県内の交通事故発生概況 (4/6～4/15)

期間中の交通事故発生件数及び負傷者数は前年運動期間と比べて減少しましたが、死者数は増加しました。子どもと高齢者の交通事故は、減少しました。



(相模原交通安全協会)

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本 年	625 (48)	2 (0)	733 (53)
前年運動期間比	-141 (-29)	+ 1 (±0)	-175 (-33)
増 減 率 (%)	-18.4 (-37.7)	+100 (±0)	-19.3 (-38.4)

※()内は、子どもの交通事故

- ◎ 「交通事故死ゼロを目指す日(4/10)」の交通死亡事故
・ 神奈川県 0件0人 ・ 全国 13件13人

● 全国の交通事故死者数、ワースト順位

順 位	1	2					6						全 国
都 道 府 県	広 島	東 京	岐 阜	愛 知	兵 庫	北 海 道	茨 城	埼 玉	京 都	大 阪	香 川	長 崎	
死 者 数	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	74
前年同期比	+3	±0	±0	+1	-1	-4	-2	-3	±0	-1	-1	±0	-36

※ 神奈川県は、死者数2人で全国ワースト第13位

着 任 挨 拶

交通部長の鳴海でございます。

この春人事異動により着任いたしました。

交通安全協会の皆様におかれましては、警察行政各般にわたり御支援、御理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本年の県内の交通事故情勢につきましては、発生件数及びけがをされた方は、減少傾向で推移しております。これも、貴協会をはじめ、関係団体の皆様の地域に密着した継続的な御努力の賜物であると、重ねて感謝申し上げます。

一方、依然として多くの尊い命が、交通事故の犠牲になっており、4月末では、昨年と同じ時期より7人多い43人が亡くなられ、特に歩行中に事故に遭い亡くなられる高齢者が17人と大幅に増加するなど、厳しい情勢が続いております。

県警察といたしましては、本年も「月末6日間対策」、「横浜エリアゼロ対策」を継続するとともに、昨年、交通死亡事故が増加した県西地区(平塚、大磯、小田原、松田、秦野及び伊勢原警察署管内)の活動を強化する「県西エリアゼロ対策」を新たに実施しております。また、1月に「高齢者事故防止対策プロジェクト」を設置し、高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための総合的な事故防止対策を推進するなど、交通死亡事故抑止に向けた取組みを強化しております。

皆様におかれましても、引き続き警察活動に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、交通安全協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を心から祈念申し上げまして着任の挨拶とさせていただきます。



神奈川県警察本部
交通部長
鳴海 達之

～ 警察庁長官賞の受賞 ～

神奈川県警察は、4月24日、全国交通部長会議において、「平成28年中、交通死亡事故の抑止に向けた総合的な対策を効果的に推進した」功勞により、警察庁長官賞を受賞しました。

※ 県警察は、昨年「月末6日間対策」「横浜エリアゼロ対策」等の交通死亡事故抑止の総合的な対策によって、交通事故死者数を激減させました。



交通安全こども自転車神奈川県大会への取り組み

金沢交通安全協会 事務長 早坂 光男

金沢区では5月の自転車マナーアップ強化月間に併せて「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」を開催しています。

この大会も今年で12回目を迎えますが、大会開催するに至った経緯は、十数年前、小学生が自転車に乗車して道路を横断中、トラックに巻き込まれ、亡くなるという痛ましい事故が発生しました。

こうした悲惨な事故を二度と発生させないためにも、自転車競技を通じ、交通ルールとマナーを身につけさせて交通事故防止を図る目的で保護者及び高齢者を加えた三世代交流による「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」を立ち上げました。

チーム構成は、小学生4名・保護者1名・高齢者1名の6名編成で「学科テスト」「走行テスト」を行い、表彰は「三世代優勝チーム」と「小学生の部」優勝チームに分け、「小学生の部」で優勝したチームが県大会に出場してもらっています。

大会開催に当たっては、事前準備として金沢警察署・金沢区役所と連携を密にして、各小学校校長会議、町内会長会議席上での協力依頼、金沢区安全・安心まちづくり発行の「安全安心かなざわ」だよりへの登載などをして出場チームの募集をしております。

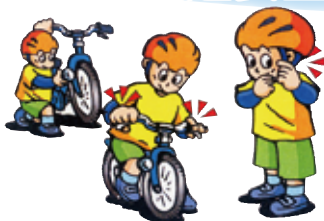
県大会へ出場する子供達は、地区大会が終わって1ヶ月位の練習期間しかありませんが、高齢者大会に参加する3名と炎天下の中、猛練習に励んで大会に臨んでいます。

ここ5年間の成績は、高齢者の部では優勝2回、2位と3位が各1回入賞しておりますが、小学生の部では、なかなか入賞することが出来ず、指導の難しさを感じていましたが、一昨年念願の6位入賞することができ、子供達や学校関係者はもちろんのこと指導に当たった方々と喜びを分かち合いました。

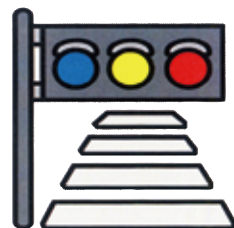
今年も「はまっこ交通安全教室」を担当している交通指導員が中心となって子供達を指導し、上位入賞を目指して頑張りたいと思っています。



第48回交通安全こども自転車神奈川県大会及び 第6回交通安全高齢者自転車神奈川県大会出場チーム募集中



こどもと高齢者の自転車の安全な乗り方の
向上と自転車事故防止を目的として交通安
全自転車神奈川県大会を開催します。



- 開催日時 平成29年7月1日(土) 午前9時から(受付8:30)
- 場 所 横浜文化体育館(横浜市中区不老町2-7)
- 申し込み先 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-15 (公財) 神奈川県交通安全協会
TEL.045-478-0166 FAX.045-475-5524
- 締め切り 平成29年6月1日(木)

※ 参加条件等詳細については、(公財) 神奈川県交通安全協会へお問い合わせください。

平成29年度使用 交通安全スローガンポスター



～神奈川県伊藤文人さんの作品が入賞～

- ◎ 内閣総理大臣賞(最優秀作)
歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの



交通事故の悲劇に学ぶ ④7

●自分の生き方を変える トラック運転手(63歳)

朝と昼を兼ねた食事を済ませて会社に出勤し、夕方までトラックで短距離輸送をした後、北海道から来る魚を降ろし、配送先ごとに分けた魚を野菜とともに積み込み、市場へ運び、売り場に持って行く約2時間くらいの仕事をしていました。そして市場近くで食事をする予定でした。

しかし、車を止める事ができないため、空腹を我慢しつつ急いで走り、早く燃料を入れなくてはとか、今日は何を食べるか考えていました。

その時は、片側二車線道路と道幅が広く、速度を出しやすかったこともあり、スピードを出していたところ、信号が黄色になりましたが速度を出していたため、止まれないと思い、ブレーキではなくアクセルを踏み込んでしまいました。しかし、私が止まると思い、対向車線の車が右折を始めたため、私は危険を感じて急ブレーキを掛けましたが、間に合わず「アー」と思った瞬間に衝突してしまいました。

私が止まれないと判断を誤り、事故を起こしてしまった、大変だと思い動転しましたが、すぐ車を降り、救護に行くと、大きな音を聞いた近くの人々が来て、私より先に救急車と警察に電話を入れたことを教えてくれました。何人かで車に近づくと、一人は意識が無く、運転していた人は頭から血を流して「ウー」と言う呻き声を出していたため、周りの人はすぐに救急車が来るなど、被害者の方を励ましたり、被害者の方の頭からの血を見て、動かさない方がいいだろうと言ってくれました。

その後、警察の人が来てすぐ現場検証が始まり、警察署での事情聴取が夕方まで続き、助手席の人が亡くなったことを聞きました。またもう一人の被害者も重体と聞き、どうか助かって欲しいと心から祈りました。しかし、もう一人の被害者の方も病院を移って間もなく亡くなったことが分かり、被害者の方とご遺族の方に対して、多大な責任を感じました。

この事故で「自動車運転過失致死罪」禁錮2年の実刑判決が下りました。この事故は、私のスピードの出し過ぎが取り返しのつかない死亡事故に繋がりました。奪っ



イラストは本文とは関係ありません

た責任を重く受け止め、一生を掛けて謝罪し、被害者の方とご遺族の方に対して気持ちを込めたお詫びをしながら償って行くと心に強く誓いを立てて生きて行きたいと思いました。

保険会社と弁護士さんを通して、示談は成立したと会社から示談書が届きました。この事故で被害者ご遺族の方、自分の家族、会社、友人と多くの人々に迷惑をかけ、損害を与え、信用を失くしてしまいました。私は長く運転手をやり、運転に対して自信過剰でした。その結果スピードを出し過ぎ、交通規則を守ることが出来なかったために、今は後悔、反省をして受刑生活を送っています。

出所後は、被害者ご遺族の方の心の傷、感情が少しでも癒やせることを切に願いながら償いの一歩として、お墓を清掃したり、お墓参りをしながらご遺族の方に直接謝罪ができるのを待ち続けて、気持ちを伝えていきたいと思っています。

ご遺族の方の気持ちを一番に考え、手紙だけではなく、同じ過ちを繰り返さないために、安全運転で規則を守る大事さや注意、確認にやり過ぎはないことを人々に伝えて、強い意志で、一件でも事故を減らすことを呼び掛けていくことが、亡くなった方への謝罪ではないかと思っています。皆様どうか私と同じ過ちを起こさないよう注意して運転して下さい。お願いします。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 湘南信用金庫 ————— 横須賀市大滝町
- 横須賀新聞販売協同組合 ————— 横須賀市日の出町
- (有)サカエオート ————— 横須賀市大矢部

《自転車会員入会および サイクル安心保険加入のご案内》

全日本交通安全協会では「自転車利用者の交通安全意識を高め、自転車による交通事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与することを目的として自転車会員制度」を新設しました。

自転車会員は、自転車利用に関する情報の提供を受けられる他に、会員専用の団体保険制度「サイクル安心保険」へもご加入いただけます。

サイクル安心保険・補償額は1億円



● 申込み等詳細は、一般財団法人全日本交通安全協会ホームページをご覧ください。

全日本交通安全協会 自転車会員

検索

第19回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

● 申込期間

平成29年4月16日(日)～6月30日(金)

● コンクール期間(無事故無違反チャレンジ期間)

平成29年7月1日(土)～12月31日(日)

● 参加資格

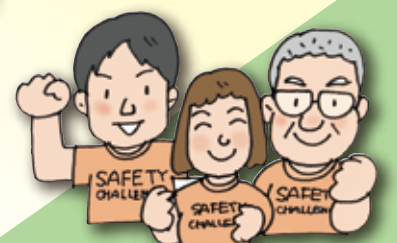
- ◇ 神奈川県内在住・在勤・在学または仕事等のため県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム
- ◇ チームの全員が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること

● 参加区分

- ◇ 一般チーム：年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
- ◇ シルバーチーム：一般チームのうち、全員が65歳以上(7/1日現在)のチーム
- ※ 当選チームは、平成30年2月29日(予定)県のホームページに発表します。

◇ 参加手数料等

- ・1チーム1,890円(運転記録証明書発行手数料3人分の実費)
- ・参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。



賞品(予定)

特賞 30万円分の旅行券[1チーム]

- 1等** 15万円分の旅行券[2チーム]
 - 2等** 6万円分の商品券[5チーム]
 - 3等** 3万円分の商品券[10チーム]
 - 4等** 6,000円分の商品券[150チーム]
 - 5等** 3,000円分の商品券[300チーム]
- その他シルバー特別賞あり



南交通安全協会
会長
置田 光男さん
おきた てるお



今回は、一般社団法人南交通安全協会会長の置田光男さんを紹介します。

南交通安全協会は、昭和22年前身である「寿交通安全協会」が設立され、今年で70年目を迎えました。

置田会長は、「子どもの悲惨な交通事故をなくしたい」という思いで、平成12年に理事として協会の運営に参画し、副会長を経て、平成23年から会長に就任され、区内の交通安全ボランティアの先導者として日々の交通安全活動に取り組んでいます。

会長は、運送会社経営をご子息に譲られ、交通安全活動に専念されている様子であり、ありが

たく思っています。下町独特の気取らない人間味ある温厚な性格で誰から

信頼され、地域の方々にも

とても人気があり、交通事故防止キャンペーン等の集客の一因になっていると思います。南区から二件で

も交通事故をなくそうと努力し、子どもの事故等を聞くと率先して小学校の交通安全教室にも参加し、注

意を呼びかけています。周囲の方々への気配り、優しさ、交通安全活動を担う

方々とのコミュニケーションを欠かさず、全ての方に分け隔てなく誠実に接する

人柄です。

「交通安全は区民全員の問題」と捉え、「警察・区役所・関係機関団体との

連携」を密にし、地域に根ざした交通安全活動を推進しています。とりわけ、

交通マナーの悪さに憂いを感じており、安全運動や街頭啓発活動を通して交通

ルールのマナーアップを呼びかけています。

会長には、運送会社社長や後援会幹事長などの職務もあり、公私ともに

大変お忙しい日々を送られておりますが、時には趣味のゴルフなどで健康を

維持され、事故のない安心安全な街づくりを目指し、日々ご活躍されることを願う次第であります。

(取材協力…南交通安全協会)

こんにちは 「磯子交通安全協会」です

今回は、磯子交通安全協会が取り組んでいる年間活動の中から、春と年末の交通安全運動キャンペーンについてご紹介します。

「春の全国交通安全運動キャンペーン」では、毎年JR洋光台駅前地で地元「横浜学園高校等バトン部の華やかなチアダンス」や「マジシャンの交通安全を取り入れたマジックショー」等々を余興としてキャンペーンを展開しています。いつも通行人に加え小学校帰りの児童や園児達が大勢集まってくれて交通安全を区民に啓発することができます。出演者の皆さんは「交通安全は日頃の心がけと取り組みを継続することが大切です。それはダンスもマジックも同様です。」と話さ

れていました。交通安全のチラシと反射材の配布は、毎回650人分を準備して通行人の方々に配布しています。

一方、年末には交通事故防止運動キャンペーンの一環としてパレードを実施しています。恒例行事として20年を迎え黒川会長の地元杉田商店街を中心に盛大に行っています。白バイ先導のもと、最前列に「交通安全」の大きな横断幕を掲げた交通指導員、次に杉田小学校MDS金管バンド部員総勢100名、続いて警察署長、区長、安全協会長、関係団体のリーダー、そして最後列に「交通安全」の提灯を高く掲げてパレードします。京急杉田駅前を起点としてJR新杉田駅前交番を折り返し戻って来ます。この間、通行人や商店街の方々に「交通安全チラシと反



射材」を配布しながら交通安全を呼びかけています。

今後も警察署、区役所、関係団体と連携し交通ルールの順守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の効果的なキャンペーンを展開していく所存です。

磯子交通安全協会
(石田 記)

地区交通安全協会の活動紹介



秦 野

交通安全活動推進委員協議会では、秦野市交対協等と連携し、イオン秦野店前においてのぼり旗を掲げ、通行人等に啓発物を配布し、「交通事故防止」を呼びかけた。



鎌 倉

鎌倉市交対協と連携し、俳優の上地雄輔さんを1日警察署長に委託して鎌倉駅前でのぼり旗を掲げ、通行人等に啓発物を配布して「交通事故防止」を呼びかけた。



伊 勢 佐 木

春の全国交通安全運動のキャンペーンに伴い、JR桜木町駅前において、エアーバック衝撃体験装置等を活用して「交通事故防止」を呼びかけ啓発活動を行った。



保 土 ケ 谷

保土ヶ谷警察署玄関先に交通安全の提灯を掲げ、署員らと新入学児童らを招いて春の全国交通安全運動に向けた出陣式を実施した。



戸 塚

署員、交対協、交通指導員、安全運転管理者らが戸塚駅東口自由通路において通行人等にチラシや啓発物を配布しながら「交通事故防止」を呼びかけた。

茅 ヶ 崎

茅ヶ崎駅ペDESTリアンデッキにおいて、のぼり旗を掲げ通行人等に啓発物を配布し、「交通事故防止」を呼びかけた。



麻 生

麻生警察署で金程小学校新入学児童2名に1日警察署長を委託し、新百合ヶ丘駅自由通路においてのぼり旗を掲げ、通行人等に啓発物を配布し「交通事故防止」を呼びかけた。



幸

ラゾーナ川崎プラザで春の全国交通安全運動キャンペーンを実施。女優の柳ゆり菜さんを1日警察署長に委託して「交通事故防止」を呼びかけた。



松 田

警察署と連携し、交通安全活動推進委員、交通指導員、母の会ら33名が小田急線開成駅前において通行人等に啓発物を配布して「交通事故防止」を呼びかけた。



都 筑

重大交通事故が発生した交差点で署員や交通指導員、母の会らがのぼり旗を掲げ、通行する車両、自転車等に「交通事故防止」を呼びかけた。



春の全国交通安全運動

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 ————— 6月中
- 第8回評議会、第22回理事会 ————— 6月19日(月)県安協会館
- 二輪車安全運転講習 ————— 6月17日(土)運転免許試験場
- 地区事務長会議 ————— 6月26日(月)県安協会館